# 故障予防のために定期的な部品交換を!

自動車部品の消耗・劣化は、重大な故障の原因となる可能性があります。愛車を快適に使用するためには、定期点検で車の状態を把握し、状態に応じた部品交換が必要です。 下記に、主な消耗・劣化部品と定期的な交換の必要性をご紹介しますので、愛車の維持管理をする際の参考にして下さい。

(参考) 自動車メーカーでは、自動車を末永く安全にご使用頂くために、定期的な部品・油脂類の交換を車種別に設定しております。詳しくは整備事業場へご相談下さい。

社団法人 日本自動車整備振興会連合会

正常な働き

交換の必要性

交換を怠ると

正常な働き

交換を怠ると

# エア・クリーナ・エレメント



エンジンが吸入する空気中のチリ等をろ過。



チリ等が蓄積され、目詰まりが発生。



エンジン出力低下、燃費や排気ガスの悪化。

エンジンの熱を吸収してラジエータで放熱。



腐食防止および凍結防止性能が低下。

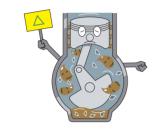


腐食等により冷却水漏れを起こし オーバーヒート。

### エンジン・オイル



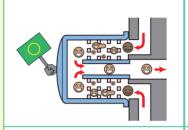
エンジン内部を潤滑し、不純物からエンジンを保護。



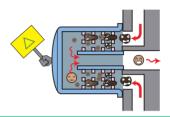
不純物を包み込む力が衰え、潤滑性能 低下。 潤滑性能低下により傷付き及び焼き 付き。



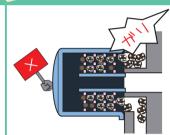
### エンジン・オイル・フィルタ



エンジン・オイル中の不純物をろ過。



不純物が蓄積され、目詰まりが発生。

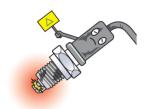


目詰まりにより、ろ過不能となり

### スパーク・プラグ、スパーク・プラグ・コード



エンジンを動かすため、スパーク・ プラグで燃料に点火。

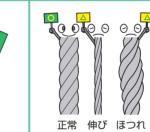


電極消耗やコード劣化により点火 ミスを発生。



点火不良によりエンジン不調、 不始動。

### ブレーキ・ワイヤ



正常 伸び ほつれ 損傷



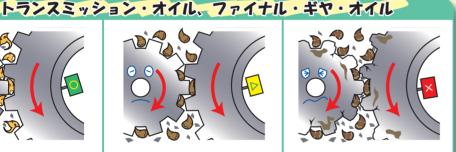
ワイヤ切れ等によりブレーキ作動 不能。



内部を潤滑し、鉄粉等からギヤを保護。

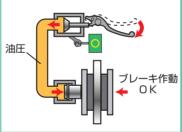


鉄粉等を包み込む力が衰え、潤滑 性能低下。

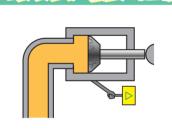


潤滑性能低下により傷付き及び焼き付き。

# プレーキ・マスタ・シリンダのゴム部品



レバー(ペダル)操作力を油圧に 変えてブレーキを作動。

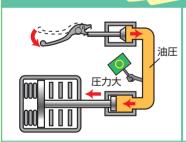


ゴム素材のため、摩擦や伸縮の繰り 返しにより劣化。

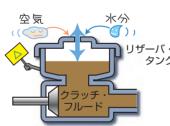


液漏れ等によりブレーキの効き不良。

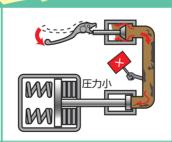
### クラッチ・フルード



レバー操作力を油圧でクラッチ装置

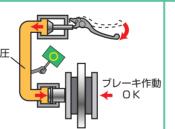


通気口から空気中の水分を吸収し劣化。

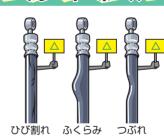


劣化したフルードにより内部部品 が劣化し、クラッチ切れ不良。

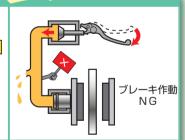
スレーキ・ホース



各ブレーキ装置に油圧を伝える。



ゴム素材のため劣化し、ひび割れ等

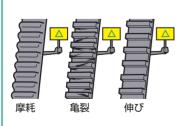


液漏れ等によりブレーキの効き不良。

# ドライス・ベルト



エンジン動力をホイールに伝える。

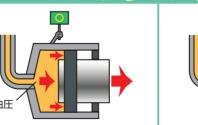


ゴム素材のため劣化し、ひび割れ、

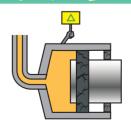


ベルト切れにより走行不能および 伸びにより変速不良。

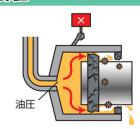
# ブレーキ・ディスク・キャリパのゴム部品



油圧を保持し、ブレーキを効かせる。



ゴム素材のため、摩擦や伸縮の繰り 返しにより劣化。



液漏れ等によりブレーキの効き不良。

## ステアリング・ステム・ベアリング

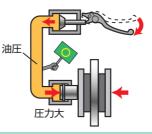




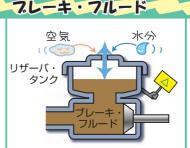
ハンドル軸受部の動きを滑らかにする。グリース切れ等により摩耗や錆が発生。



ハンドル操作不良や、走行安定性 不良を起こす。



レバー(ペダル)操作力を油圧で ブレーキ装置に伝える。



通気口から空気中の水分を吸収し劣化。気泡発生によるブレーキの効き不良。

